

# 献血の同意説明書

献血にご協力いただき、ありがとうございます。献血いただいた血液は、輸血用血液製剤及び血漿分画製剤の原料に使用されます。「お願い！」パンフレットと併せて以下の1～5の事項をご確認いただき、献血受付へお進みください。

## 1. 献血に伴う副作用等について

- ① 気分不良、吐き気、めまい、失神などが0.7%（約1/140人）、失神に伴う転倒が0.008%（1/12,500人）の頻度で発生します。
- ② 針を刺すことによる皮下出血が0.2%（1/500人）、神経損傷（痛み、しびれ、筋力低下など）が0.01%（1/10,000人）の頻度で発生します。  
（医療機関の受診を伴う副作用には、「献血者健康被害救済制度」が適用されます。）
- ③ 成分献血では、血液が固まらないように抗凝固剤（クエン酸ナトリウム）を使用しているため、口唇や手指のしびれ感などの症状が現れる場合や、予期せぬトラブルなどにより血液をお返しできない場合があります。

## 2. 個人情報の取扱いについて

- ① 個人情報や検査結果等は血液センターにおいて厳重に管理され、安全な血液製剤を安定的に確保し、患者さんへお届けするために、また、皆様の健康を守り、安全な献血のための研究に利用させていただきます。※詳細は裏面をご覧ください。
- ② 健康診断の結果、献血いただけないことがあります。申告いただいた個人情報は、医師法、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」などの定めにより削除できません。

## 3. 血液の検査等について

- ① いただいた血液の一部を用いて、次の検査を行います。  
血液型（ABO型、Rh型、HLA遺伝子型等）、不規則抗体、梅毒、B型・C型・E型肝炎ウイルス、エイズウイルス（HIV）、ヒトT細胞白血病ウイルス-1型（HTLV-1）、ヒトパルボウイルスB19、ALT（肝機能）等  
※あなたの血液をもらった患者さんやあなた自身の健康のため、上記以外にも病原体を検査することがあります。
- ② 血液型や輸血副作用の検査・解析のため、赤血球型、白血球型、血小板型及び血漿蛋白の遺伝子検査を行うことがあります。
- ③ 血液製剤の品質管理や輸血用の検査試薬の製造に使用することがあります。

## 4. 血漿分画製剤の海外輸出について

血漿分画製剤については、国内の患者さんに使用される他、国内自給と安定供給に支障が生じない範囲で、国が定める需給計画に基づき海外の患者さんのために輸出される場合があります。

## 5. 血液の有効利用について

いただいた血液は、個人を特定できる情報と切り離し、厳密な審査のもと、一般公募された研究機関等および日本赤十字社が実施する、以下の研究開発等に使用することがあります。

なお、その際、遺伝子を解析することがあります。

- ① 血液製剤の有効性・安全性の向上及び検査法の向上を目的とした使用
- ② 病気の診断・治療や国民の健康状態の改善を目的とした使用

詳しい研究項目等は添付資料裏面をご覧ください。

# 献血者の皆様の個人情報取り扱いについて

日本赤十字社では、献血者の皆様の個人情報について、法令を遵守し、以下のように適正に取り扱います。

## 個人情報の利用目的

献血者の皆様の個人情報は、安全な血液製剤を安定的に確保し、患者さんへお届けするために、また、皆様の健康を守るために利用いたします。

具体的な利用目的は、以下のとおりです。

- 血液事業に関する情報の提供や献血の依頼などのため
- 献血受入れ時の確認等のため
- 安全に献血いただくための健康被害（採血副作用）対策の研究のため
- 献血者の皆様への検査結果等の通知のため
- 血液製剤の安全性確保に必要な血液検査・試験の実施のため
- 血漿分画製剤製造国内メーカーへの原料血漿配分のため
- 保管検体の検査結果を医療機関等へ情報提供するため
- 遡及調査の結果を医療機関等へ情報提供するため
- 健康被害（採血副作用）における保険会社、厚生労働省等への連絡のため
- 血液の有効性や安全性向上の研究のため
- 国の指導の下に行われる他の研究機関との共同研究のため
- 内部外部における特殊な検査試薬の製造のため
- 患者さんに適合した血液製剤の確実な供給のため
- 血液事業に関する表彰のため、また、国・地方公共団体等への表彰対象者の報告のため

## 個人情報の種類と収集方法

個人情報の種類と収集方法は以下のとおりです。

- 献血申込書（診療録）、登録申込書や健康被害（採血副作用）を負った場合の請求書等に記載された住所、氏名、生年月日、電話番号、口座番号など
- 医師等が献血申込書（診療録）に記載した事項
- 医師等が献血者健康被害記録（採血副作用記録）に記載した事項
- 検体の検査から得られる情報
- 献血者の皆様が申告された情報

## 情報の目的外利用・提供

皆様の個人情報は、法令に定めのある場合やご本人が同意している場合を除き、目的外に利用すること及び前記の「個人情報の利用目的」に記載された以外の第三者に提供することはありません。

## 個人情報の管理方法

皆様の個人情報を正確、最新のものにするため常に適切な措置を講じるよう努めています。

また、個人情報の不正な流出を防止するため等の安全対策を講じています。

なお、日本赤十字社が個人情報に関わる業務を外部に委託する場合にも、同様に厳重な管理を行なわせます。

## 開示・訂正等の請求について

ご自身に関する情報について開示をご希望の場合、または血液センターが保有する個人情報が事実と異なる場合には、献血カードに記載されている連絡先までご連絡ください。

ご本人であることを確認させていただいた上で対応いたします。

## 献血の同意説明書「5. 血液の有効利用について」の説明

### 1. はじめに

献血血液（検査用検体の残りや検査により不適合となった血液など）を研究に使用することで、①血液製剤の有効性・安全性の向上及び検査法の向上のほかに、②病気の診断・治療法の開発が促進され国民の健康状態の改善などに役立つ可能性があります。

そのため、献血血液を研究に使用することへのご理解をお願いしています。

### 2. 対象となる研究について

①血液製剤の有効性・安全性の向上及び検査法の向上を目的とした研究のほかに、②病気の診断・治療や国民の健康状態の改善（国の公衆衛生の向上）を目的として行われる研究で、かつ献血血液を使用しないと実施が難しい研究が対象です。さらに外部の研究機関などから「献血血液の研究開発等への使用に関する公募」により申請され、日本赤十字社で承認された研究に限られます。これらの研究のために献血血液が外部研究機関などへ提供される際は、氏名や住所などの情報は切り離し、個人が特定できないようにします。

外部研究機関で実施される①の研究課題と研究内容が多岐にわたる②の研究課題を裏面に記載しました。なお、研究の内容により遺伝子を解析することがあります。

### 3. あなたの利益・不利益について

研究に使用する献血血液は、上記2のように、氏名や住所など個人を特定できる情報と切り離して使用するため、あなたに不利益はありません。また、個人的に受ける利益もありません。

### 4. 同意と撤回について

献血血液を研究に使用することは、あなたの自由意思による同意に基づきます。同意をしないからといってあなたの不利益になることはありません。

また、同意は、献血血液が研究に使用される前であれば撤回することができます。ただし、早ければ、採血翌日に使用される場合があります。

同意の撤回を希望される場合は、下記の連絡先までお電話をお願いします。

ご不明な点がございましたら、受付の職員にお申し出ください。

電話番号

**無料 0120-99-2056**

この電話は24時間対応の受信専用録音電話です。  
プッシュボタンによる採血番号等の入力はできません。

同意を撤回するためには、採血番号と生年月日の両方が必要です。  
あなたの声でお知らせください。

※採血番号については、献血時にお渡しするチラシ（右写真）の  
枠内に記載しております。



# 令和7年度実施の献血血液を使用する研究課題

裏面

## 研究課題（献血者説明用課題名）

- 1 【27J0003】 血液中の細胞に抗酸菌を感染させる実験から抗酸菌症の発症の仕組みを解明する
- 2 【28J0064】 抗HTLV-1 ヒト免疫グロブリンによるHTLV-1の革新的感染予防モデルの開発とその有効性の検討
- 3 【29J0011】 日本国内に移入される可能性のあるウイルスの高感度核酸検査法の開発
- 4 【29J0030】 ヘパトカインを標的とした診断薬・治療薬の開発
- 5 【29J0051】 血液中の免疫細胞を利用した、からだを守る仕組みの解明
- 6 【29J0056】 痛風・高尿酸血症リスクに関連する ABCG2 遺伝子の解析：Jra 抗原陰性者の解析による新規リスク変異の検討
- 7 【30J0004】 関節リウマチにおける骨破壊を抑制する方法の検討
- 8 【30J0040】 血液製剤の病原体不活化の研究と B 型・C 型肝炎ウイルスの培養系の開発
- 9 【30J0050】 癌における血液由来細胞の解析
- 10 【31J0005】 Medical gas による血小板保存法の開発
- 11 【31J0016】 血漿から濃縮した止血因子の有効な作製方法の確立
- 12 【31J0017】 ドローンで血液を運ぶ研究
- 13 【31J0021】 微振動が血流特性に与える影響についての研究
- 14 【31J0032】 有効期限を超えた血小板製剤の新たな活用法の検討
- 15 【31J0035】 若年の B 型肝炎ウイルス陽性者においてワクチンが効きにくい B 型肝炎ウイルスの存在を検討する研究
- 16 【31J0041】 体外式膜型人工肺 (ECMO) の使用が人体に与える影響の検討
- 17 【R020008】 血液凝固反応を防止する技術の開発
- 18 【R030016】 アレルギーに関係する T リンパ球の分化経路の解明
- 19 【R030028】 医薬品を汚染する発熱性物質を血液で評価する方法の開発
- 20 【R030030】 iPS 細胞由来の HLA クラス I 欠失巨核球細胞のストックおよび血小板産生に関する研究
- 21 【R030031】 炎症におけるリンパ球機能の解析
- 22 【R030036】 T 細胞および制御性 T 細胞の解析研究
- 23 【R030047】 ヒト樹状細胞前駆細胞の同定と新規培養方法の樹立
- 24 【R040023】 微細な酸素の泡を含んだ透析液と血液をブレンドすることで血液を酸素化し呼吸を助ける方法の研究
- 25 【R040025】 COVID-19 における免疫研究
- 26 【R040026】 麻酔薬の癌に対する免疫に及ぼす影響を探索します
- 27 【R040027】 血小板製剤の長期間の保存を可能にするための研究
- 28 【R040036】 病気の治療・予防・診断に有用な血中因子の探索
- 29 【R040041】 血液から白血球のみを分離する手法の開発
- 30 【R040043】 人の血液に含まれる薬毒物の正確な分析法の確立と品質管理
- 31 【R050013】 結核やウイルスを攻撃する免疫細胞の役割を解明する
- 32 【R050015】 ヒトパルボウイルス B19 抗原検査試薬の性能評価
- 33 【R050016】 E 型肝炎ウイルス検査試薬の性能評価
- 34 【R050017】 パルボウイルス B19 検査試薬の性能評価
- 35 【R050019】 ウイルス感染症の予防および治療における免疫細胞の働き
- 36 【R050025】 流行している梅毒の菌株についての解析
- 37 【R050026】 マラリアワクチン研究開発準備のためのヒト血漿のポリビオリスザル細胞培養での有用性の検討
- 38 【R050032】 医薬品の副作用を予測するための研究
- 39 【R050034】 新規パルボウイルスワクチンの開発
- 40 【R050038】 血液製剤の安全性を確保するための病原体不活化法の研究とそれに使用するためのパルボウイルス B19 培養法の確立
- 41 【R050041】 「白血球除去工程後のフィルター」に含まれる白血球分画のフィーダー細胞としての機能評価
- 42 【R050042】 青年期と幼年期のヒトから得られる制御性 T 細胞を比較して細胞発生・増殖の原理を解明する
- 43 【R060001】 生活習慣病の予防や早期発見に資する装置開発
- 44 【R060005】 マラリア原虫の増殖機構の解明と抗マラリア薬の開発
- 45 【R060010】 悪性リンパ腫における免疫回避に関する研究
- 46 【R060016】 正しい血液の搬送方法の確立
- 47 【R060017】 免疫細胞が働く時に細胞内ではどのような変化が起こるのか？
- 48 【R060019】 ABO 型検査に関する検討 49 【R050029】 無人航空機を用いた血液製剤搬送の実行可能性と品質への影響に関する
- 49 【R060025】 作製血小板の研究開発
- 50 【R060026】 E 型肝炎ウイルス検査試薬の開発
- 51 【R060028】 既にある免疫を新しいワクチンの開発に応用するための研究
- 52 【R060029】 難治性の小児がんである神経芽腫の治療の研究
- 53 【R060031】 結核や肺 MAC 症の治療薬開発をめざして、「赤血球が存在すると抗酸菌が増える」メカニズムを解明する
- 54 【R060033】 免疫細胞を用いたがんに対する細胞療法の開発
- 55 【R060035】 血小板から抽出するエクソソームを用いた脳梗塞治療薬開発
- 56 【R060036】 ヒト血液を利用して特有の糖鎖パターンを再現し、疾患診断に活用する
- 57 【R060037】 自己免疫疾患の発症メカニズムに関する研究
- 58 【R060038】 膠原病などの自己免疫疾患の発症機序の理解を目指した受容体の研究
- 59 【R060041】 がんや免疫疾患の治療を目指した免疫細胞制御薬の開発
- 60 【R060046】 ヒト赤血球・白血球を用いたヒトマラリアに対する免疫応答の解析
- 61 【R060048】 免疫細胞マクロファージが死んだ細胞を体内から除去する時に起こす形質の変化に関する研究
- 62 【R060051】 血漿を使った新しい胸水、腹水の検査方法の開発
- 63 【R060052】 免疫にかかわる制御性 T 細胞を効率良く増やす技術を開発するための研究
- 64 【R060054】 造血器悪性腫瘍の病態形成機構の解明
- 65 【R060056】 赤血球を急速に輸血すると、どの程度壊れるかについての研究
- 66 【R060057】 ヒト末梢血を用いた免疫応答の解析
- 67 【R060058】 リスクの高い薬が適正に投与されていることを確認する血液センサの開発
- 68 【R060059】 細胞膜で物質を輸送するタンパク質に着目した健康管理に役立つ指標の開発のための研究
- 69 【R060060】 B 型肝炎ウイルスの表面抗原測定用試薬の性能評価
- 70 【R060061】 血液灌流によりヒト iPS 臓器を作る
- 71 【R070001】 さい帯血及び献血血液に含まれる造血幹細胞が脳梗塞部位に接着する能力の解析
- 72 【R070004】 ニホンザルから得られたバルトネラ菌がヒトの赤血球に感染する可能性を検証するための研究
- 73 【R070006】 ナチュラルキラー T 細胞による免疫療法の改良を目指した研究
- 74 【R070008】 アレルギー性気管支肺アスペルギルス症における多様な IgE 抗体の検討
- 75 【R070009】 アレルギー性気管支肺アスペルギルス症の血清診断法の検討
- 76 【R070012】 ナチュラルキラー細胞を用いた血液がんの新しい治療法の開発
- 77 【R070018】 赤血球製剤をプラスチックシリンジに分割・保存した際の影響に関する調査
- 78 【R070019】 新規 HTLV-1 (ヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型) 抗体検査法における全血検体利用法の開発
- 79 【R070021】 免疫細胞マクロファージを利用した、新たな、がん免疫療法の開発につながる研究
- 80 【R070022】 血小板の機能と血中脂質成分の相互作用
- 81 【R070026】 ヒト免疫担当細胞に及ぼす天然由来化合物の影響の検討
- 82 【R070031】 マラリア原虫の赤血球寄生メカニズムの解析
- 83 【R070032】 免疫検査の偽陽性を抑制する新規試薬の評価
- 84 【R070034】 血液を循環させる人工臓器の新規開発における評価方法の構築
- 85 【R070039】 新鮮凍結血漿の最適融解温度と保存温度に関する研究
- 86 【R070041】 氷点下の低温時での輸血用血液の保管、輸送のための梱包および保温方法の確立
- 87 【R070043】 血液が固まりにくい素材の開発
- 88 【R070045】 ホルムアルデヒドの毒性解明のための研究
- 89 【R070047】 廃棄される血液の再生医療への活用法の検討
- 90 【R070048】 食品に含まれるタンパク質が消化管以外でも分解され組織に届く可能性に関する研究
- 91 【R070049】 赤血球の酸素運搬の仕組みに関する研究
- 92 【R070052】 自己免疫疾患の治療を目的とした医療機器の開発
- 93 【R070055】 災害時や遠隔地などで即時使用可能な血小板の長期保存法の開発
- 94 【R070056】 開発中の人工血管の評価
- 95 【R070057】 遺伝性鎌状赤血球症に対する新規治療法の開発
- 96 【R070058】 がんの早期診断に有用な血液中の特定物質についての新しい測定法の開発

※年度単位での公開のため、まだ実施されていない、または終了している場合があります。

研究の内容をお知りになりたい方は下記ホームページでご確認いただくか、受付の職員にお申し出ください。  
<https://www.jrc.or.jp/donation/blood/koubo/>